

業 種／金融業・保険業
主な事業内容／生命保険業
従業員数／42,950人

災害時の役割に応じてチーム・班を設置。定期的な訓練で役割の実効性を検証

「宿泊対策班」「帰宅対策班」等、災害時の役割に応じてチーム・班を組成して要員を年度ごとに任命。毎年、各チーム・班メンバーによる「ウォークスルー訓練」・「実働訓練」等を反復して実施。各訓練については、年度の上期までに実施し、下期以降は訓練を通じて認識した課題への対応を高度化するPDCAサイクルを推進し、各チーム・班の役割や行動の実効性を検証している。



過去に行われた「災害対策総合訓練(実働訓練)」時の帰宅対策班・宿泊対策班の訓練の様子。

<ウォークスルー訓練>

災害時の手順書・チェックリスト等を使用し、各チーム・班の役割や災害時の行動・手順などを机上で確認する訓練

宿泊対策班

宿泊することになる従業員に対し、社内の宿泊場所の指定、必要な物資(水・食料・毛布)を支給



帰宅対策班

帰宅のための安全が確認できた際、帰宅支援対象道路をはじめとした交通インフラの運行・利用可能な状況の情報を従業員へ提供



拠点ごとの立地リスクに応じた初期行動確認・訓練を実施

近年、自然災害が頻発していることから、グループ会社を含む全拠点(約1500カ所)の立地リスク評価(地震・津波・洪水・土砂災害等)を実施している。各拠点に対してリスク評価の結果を開示し、「リスクに応じた安全確保のための初期行動の確認や訓練」により、自拠点の立地リスクを認識し、災害発生時に迅速かつ、明確に判断・対応する態勢を整備している。特に、津波避難訓練では、移動ルートや避難場所を確認し、地域のハザードマップ等を参考にしながら、必要に応じてルートや避難場所の見直しを行なうとともに、危険度の高い拠点に対しては、毎年、本社災害対策要員による出張防災教育も行なっている。

Geo-hazard Information Report

雨量：丸の内

住所：東京都千代田区丸の内2-1-1
明治安田生命ビル

地盤区分：平壌地

地盤勾配：傾斜地

最高りの距離：新潟川新崩伊奈・川口区間

距離：17km

《雨量・台風に関する公測情報（ハザードマップ）》

津波	公表あり	想定浸水深：一時浸水なし
高潮	公表あり	想定浸水深：0.3m以上0.5m未満
内水氾濫	公表あり	想定浸水深：0.2m以上0.5m未満
高潮	公表あり	想定浸水深：0.5m以上1.1m未満
内水氾濫	公表あり	想定浸水深：1.2時間未満
土砂災害	土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）	該当箇所なし
土砂災害警戒区域（イエローゾーン）	該当箇所なし	

※備考：白線の箇所は現状で該当箇所とされていません。

《雨量・台風に関する公測情報（ハザードマップ）》

津波	公表あり	想定浸水深：0.3m以上0.5m未満
高潮	公表あり	想定浸水深：0.2m以上0.5m未満
内水氾濫	公表あり	想定浸水深：0.5m以上1.1m未満
高潮	公表あり	想定浸水深：1.2時間未満
内水氾濫	公表あり	想定浸水深：1.2時間未満
土砂災害	土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）	該当箇所なし
土砂災害警戒区域（イエローゾーン）	該当箇所なし	

※備考：白線の箇所は現状で該当箇所とされていません。



津波避難訓練の様子



拠点リスクレポート(サンプル)